



THE WAY  
OF  
MUTUAL  
PROGRESS

第81期 報告書

2013.4.1 ▶ 2014.3.31

 ユシロ化学工業株式会社

証券コード：5013

# 時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

## THE WAY OF MUTUAL PROGRESS

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は半世紀の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念

「共々の道」

社 是

「独自の風格ある製品」  
「間口よりも興行きのある研究」  
「進歩は常に需要とともに」

### 財務ハイライト(平成26年3月期)

		連結決算	単体決算
売上高	(百万円)	26,833	16,839
営業利益	(百万円)	1,409	314
経常利益	(百万円)	2,285	1,165
当期純利益	(百万円)	1,495	917
1株当たり当期純利益	(円)	107.97	66.20
純資産	(百万円)	25,604	17,865
総資産	(百万円)	34,856	25,509
自己資本比率	(%)	69.3	70.0

(注)本報告書中の財務諸表等の記載の金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主の皆様へ



代表取締役社長

大 畑 栄 一

当連結会計年度における世界経済は、先進国の中で、特にアメリカ中心に回復基調にありましたが、新興国経済の先行きには不透明感もあり、その回復のペースは緩やかなものでありました。日本経済においては、海外輸出は未だ横ばい傾向にあるものの、増税前の駆け込み需要による個人消費の拡大もあり回復基調を維持しました。

当社の主要顧客である国内外の日系自動車メーカーにつきましても、円安と好調な北米市場に支えられて生産台数が増加しております。

このような状況下、売上高は海外子会社における増収と円安の効果を受け、前期比10.8%増の26,833百万円となりました。

利益については、海外子会社での増収により営業利益は前期比59.9%増の1,409百万円となりました。経常利益は前期比41.4%増の2,285百万円、当期純利益は前期比42.1%増の1,495百万円となりました。

2014年度の日本経済は、消費税増税の影響により一時的な落ち込みが予想されるものの、個人消費の回

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第81期の事業の概況についてご報告申し上げます。

復、海外経済の持ち直しや円安による輸出増加により回復方向に向かうと予想されます。一方、世界経済としては、新興国の成長減速傾向が続くものの、北米地区を中心に緩やかではありますが回復基調を維持すると予想されます。

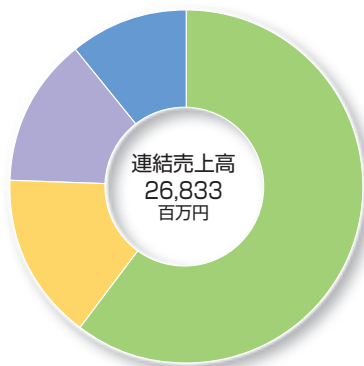
このような環境のもと、前年度設立しました、タイのアセアンテクニカルセンターに加え、インドとメキシコの新工場が本格稼働することで、当社は更なるグローバル展開を推し進め、企業価値の向上を目指します。

次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高28,400百万円（前期比5.8%増）、営業利益は1,700百万円（前期比20.6%増）、経常利益は2,500百万円（前期比9.4%増）、当期純利益は1,700百万円（前期比13.7%増）を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

# セグメント情報 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)



日本 60.3%

南北アメリカ 15.4%

中国 13.6%

東南アジア/インド 10.7%

## ●日本

金属加工油剤事業では、前年のエコカー減税の反動はありましたが、増税前の駆け込み需要もあり、売上高は前期を上回りました。ビルメンテナンス製品事業では、高付加価値製品の販売増加により前期を上回りました。

その結果、売上高は前期比2.1%増の16,189百万円になり、セグメント利益（営業利益）は前期比28.9%増の590百万円となりました。

## ●南北アメリカ

北米地区においては自動車生産台数の増加、そして新規顧客獲得を目指した結果、売上高は前期を上回りました。ブラジルにおいても第3四半期以降はやや鈍化したものの、通期の売上高は前期を上回りました。

その結果、南北アメリカ全体として売上高は前期比25.7%増の4,118百万円になり、セグメント利益（営業利益）は前期比8.6%増の208百万円となりました。

## ●中国

中国では2012年の尖閣諸島問題による影響も薄まり、第2四半期以降は中国国内の需要拡大もあって回復基調に転じました。

その結果、売上高は前期比16.9%増の3,652百万円になり、セグメント利益（営業利益）は前期比55.1%増の413百万円となりました。

## ●東南アジア/インド

タイでは、自動車購入支援策終了の反動がありました。新規顧客の獲得を追求した結果、売上高は前期を上回りました。また、マレーシアにおいては第3四半期以降太陽電池用切断油剤の売上が大きく伸展し、売上高は前期と比較して増加しました。インドネシア、インドにお

いても前期を上回りました。

その結果、セグメント全体としての売上高は前期比46.7%増の2,872百万円になり、セグメント利益（営業利益）は211百万円（前期は33百万円の損失）となりました。

## 売上高

		当 期		前 期		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
日本	外部顧客に対する売上高	16,189	60.3	15,857	65.5	2.1
	地域間の内部売上高	675	—	479	—	—
	計	16,865	—	16,336	—	—
南北アメリカ	外部顧客に対する売上高	4,118	15.4	3,277	13.5	25.7
	地域間の内部売上高	35	—	76	—	—
	計	4,154	—	3,353	—	—
中国	外部顧客に対する売上高	3,652	13.6	3,125	12.9	16.9
	地域間の内部売上高	—	—	—	—	—
	計	3,652	—	3,125	—	—
東南アジア/インド	外部顧客に対する売上高	2,872	10.7	1,957	8.1	46.7
	地域間の内部売上高	1	—	1	—	—
	計	2,873	—	1,959	—	—
消去（地域間の内部売上高の合計）		△712	—	△557	—	—
連結		26,833	100.0	24,217	100.0	10.8

## セグメント利益（営業利益）

		当 期		前 期		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
日本	計	590	41.9	458	52.0	28.9
南北アメリカ	計	208	14.8	192	21.8	8.6
中国	計	413	29.3	266	30.2	55.1
東南アジア/インド	計	211	15.0	△33	△3.8	—
消去（地域間の内部利益の合計）		△14	△1.0	△1	△0.2	—
連結		1,409	100.0	881	100.0	59.9

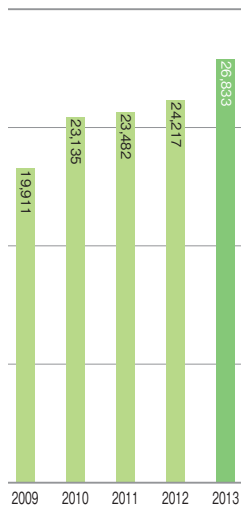
※ 各セグメントに属する国

日本 : 日本  
 南北アメリカ : アメリカ、ブラジル、メキシコ  
 中国 : 中国  
 東南アジア/インド : マレーシア、タイ、インド、インドネシア

# 連結業績推移

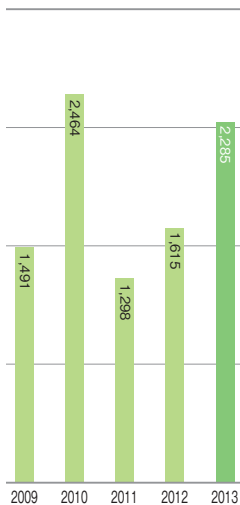
## 売上高

(単位：百万円)



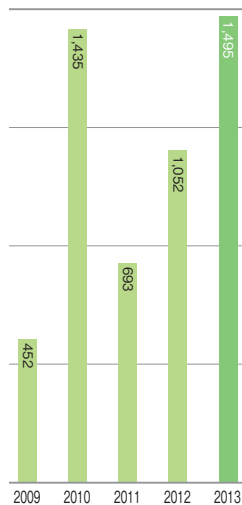
## 経常利益

(単位：百万円)



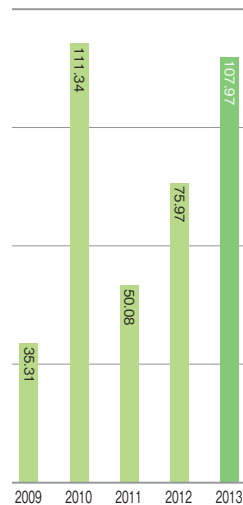
## 当期純利益

(単位：百万円)



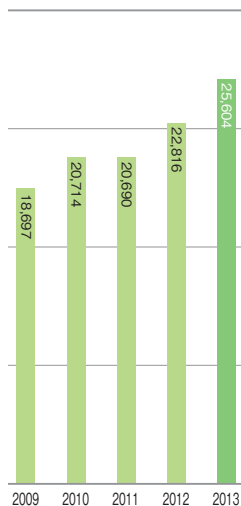
## 1株当たり当期純利益

(単位：円)



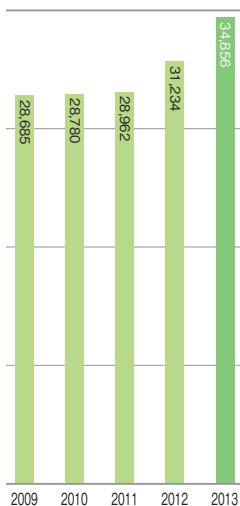
## 純資産

(単位：百万円)



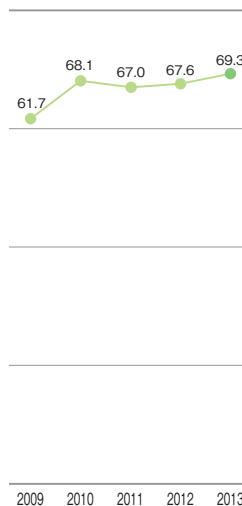
## 総資産

(単位：百万円)



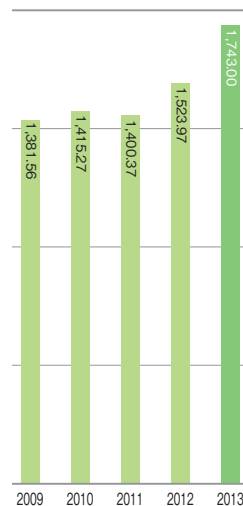
## 自己資本比率

(単位：%)



## 1株当たり純資産

(単位：円)



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成26年3月31日現在	平成25年3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	15,026	14,670
固定資産	19,829	16,563
有形固定資産	10,033	8,825
無形固定資産	859	697
投資その他の資産	8,936	7,041
<b>資産合計</b>	<b>34,856</b>	<b>31,234</b>
<b>●負債の部</b>		
流動負債	7,308	6,709
固定負債	1,943	1,709
<b>負債合計</b>	<b>9,251</b>	<b>8,418</b>
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	25,036	23,914
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,058	4,058
利益剰余金	18,183	17,061
自己株式	△1,454	△1,454
その他の包括利益累計額	△889	△2,801
その他有価証券評価差額金	875	446
為替換算調整勘定	△1,635	△3,248
退職給付に係る調整累計額	△129	—
少数株主持分	1,457	1,703
<b>純資産合計</b>	<b>25,604</b>	<b>22,816</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>34,856</b>	<b>31,234</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
売上高	26,833	24,217
売上原価	18,985	17,442
売上総利益	7,848	6,775
販売費及び一般管理費	6,438	5,893
営業利益	1,409	881
営業外収益	964	801
受取利息及び受取配当金	178	152
持分法による投資利益	619	494
その他	166	154
営業外費用	88	67
支払利息	20	21
その他	68	45
経常利益	2,285	1,615
特別利益	7	11
特別損失	21	48
税金等調整前当期純利益	2,272	1,578
法人税、住民税及び事業税	544	390
法人税等調整額	6	△18
少数株主損益調整前当期純利益	1,721	1,207
少数株主利益	225	154
当期純利益	1,495	1,052

## 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

(平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	株主資本					その他の 包括利益 累計額	少数株 主持分	純資産 合計
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本 合計			
当期首残高	4,249	4,058	17,061	△1,454	23,914	△2,801	1,703	22,816
当期変動額								
剰余金の配当			△374		△374			△374
当期純利益			1,495		1,495			1,495
自己株式の取得				△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						1,912	△245	1,666
当期変動額合計	—	—	1,121	△0	1,121	1,912	△245	2,788
当期末残高	4,249	4,058	18,183	△1,454	25,036	△889	1,457	25,604

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,981	2,220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,756	△1,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△509	△214
現金及び現金同等物に係る換算差額	252	199
現金及び現金同等物の増加額	△1,032	785
現金及び現金同等物の期首残高	5,841	5,056
現金及び現金同等物の期末残高	4,809	5,841

## 連結キャッシュ・フロー（主要要因事項）

(単位：百万円)

当期首現金 (同等物)残高	5,841		
営業活動	+1,981	税金等調整前当期純利益 +2,272	売上債権の増加額 △171
投資活動	△2,756	減価償却費 +583	持分法投資損益 △619
財務活動	△509	たな卸資産の増加額 △52	仕入債務の増加額 +296
換算差額	+252	設備投資 △1,699	
当期末現金 (同等物)残高	4,809	配当金の支払額 △374	



# 単体財務諸表

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成26年3月31日現在	平成25年3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	8,286	8,900
固定資産	17,223	15,170
有形固定資産	6,532	6,752
無形固定資産	537	459
投資その他の資産	10,153	7,958
資産合計	25,509	24,071
<b>●負債の部</b>		
流動負債	5,945	5,590
固定負債	1,698	1,587
負債合計	7,644	7,178
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	17,003	16,460
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,058	4,058
利益剰余金	10,150	9,607
自己株式	△1,454	△1,454
評価・換算差額等	861	431
その他有価証券評価差額金	861	431
純資産合計	17,865	16,892
負債及び純資産合計	25,509	24,071

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
売上高	16,839	16,335
売上原価	12,072	11,853
売上総利益	4,766	4,482
販売費及び一般管理費	4,452	4,273
営業利益	314	208
営業外収益	914	686
営業外費用	63	58
経常利益	1,165	836
特別利益	0	37
特別損失	21	5
税引前当期純利益	1,144	868
法人税、住民税及び事業税	213	178
法人税等調整額	13	△32
当期純利益	917	722

## 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	4,249	4,058	9,607	△1,454	16,460	431	16,892
当期変動額							
剰余金の配当			△374		△374		△374
当期純利益			917		917		917
自己株式の取得				△0	△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				△0	△0	429	429
当期変動額合計	—	—	543	△0	543	429	972
当期末残高	4,249	4,058	10,150	△1,454	17,003	861	17,865

# 株式情報 (平成26年3月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数 29,180,000株

発行済株式数 15,200,065株

株主数 5,445名  
(前期末比260名減)

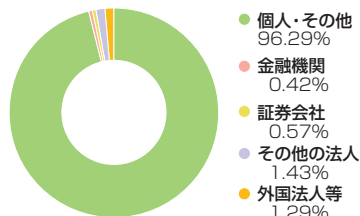
### 大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	10,310	7.44
ユシロ化学工業取引先持株会	7,306	5.27
株式会社三井住友銀行	6,226	4.49
スズキ株式会社	5,490	3.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,016	2.89
ユシロ化学工業従業員持株会	3,423	2.47
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,169	2.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,161	2.28
三井住友海上火災保険株式会社	2,860	2.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託)	2,455	1.76

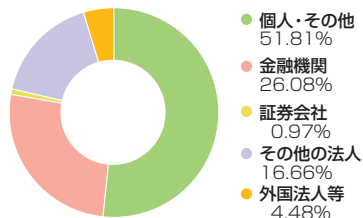
※当社は、自己株式13,463百株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。持株比率は、自己株式(13,463百株)を除いて算出しております。

## 株式の分布状況

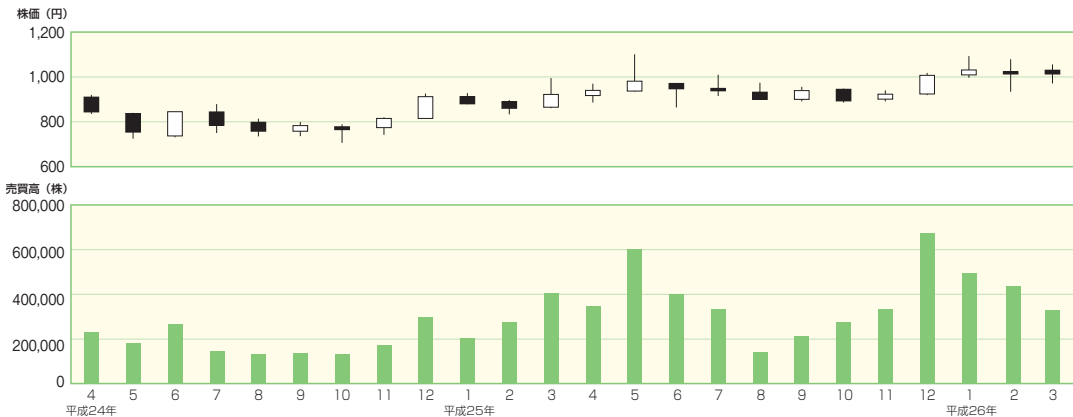
### 株主数比率



### 株式数比率



## 株価チャート



# 会社概要 (平成26年3月31日現在)

## ■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL(03) 3750-6761 FAX(03) 3750-1146
ホームページ	<a href="http://www.yushiro.co.jp/">http://www.yushiro.co.jp/</a>
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	324名(連結777名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、表面処理剤、 アルミ離型剤、太陽電池用切断油剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、フロアメンテナンス用機器 類、その他関連製品

## ■ 連結子会社

ユシロ運送株式会社
ユシロ・ゼネラルサービス株式会社
ユシロマニュファクチャリングアメリカ株式会社 [米国]
ユシロドブラジルインダストリアケミカ有限公司 [ブラジル]
ユシロメキシコ S.A. de C.V. [メキシコ]
上海尤希路化学工業有限公司 [中国]
啓東尤希路化学工業有限公司 [中国]
広州尤希路油剤有限公司 [中国]
ユシロマレーシア Sdn.Bhd. [マレーシア]
ユシロ(タイランド)株式会社 [タイ]
ユシロ(インド)株式会社 [インド]
PT. ユシロインドネシア [インドネシア]

## ■ 持分法適用関連会社

汎宇化学工業株式会社 [韓国]
株式会社汎宇 [韓国]
三宜油化股份有限公司 [台湾]

## ■ 役員 (平成26年6月24日現在)

代表取締役社長	大胡 栄一
常務取締役	岸 裕次
常務取締役	百束 立春
取締役	濱元 伸二
取締役	有坂 昌規
取締役*1	片山 久郎
常勤監査役*2	佐々木 智
常勤監査役	阪口 善裕
監査役*2	野末 昭孝

(注) ※1は社外取締役です。  
※2は社外監査役です。

## ■ 事業所

神奈川テクニカルセンター	神奈川県高座郡寒川町田端 1580
名古屋テクニカルセンター	愛知県名古屋市長区鳴海町杜若 100
富士工場	静岡県駿東郡小山町湯船字湯船原 1157-2
兵庫工場	兵庫県神崎郡福崎町西治字拝尾 817-1
東京支店	東京都大田区千鳥 2-34-16
名古屋支店	愛知県名古屋市長区鳴海町杜若 100
大阪支店	大阪府枚方市池之宮 3-5-1
北海道営業所	北海道苫小牧市表町 5-4-7 苫小牧海見第一ビルディング3階
東北営業所	宮城県仙台市宮城野区宮城野 1-26-20
北関東営業所	栃木県小山市大字横倉新田 470-5
北陸営業所	石川県金沢市森戸 1-158
浜松営業所	静岡県浜松市中区高丘西 1-3-24
福山営業所	広島県福山市大門町野々浜向山 270-1
広島営業所	広島県広島市南区段原 2-14-11 田中ビル
九州営業所	福岡県福岡市博多区東比恵 3-11-2

# 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会の基準日 3月31日

期末配当の基準日 3月31日

中間配当の基準日 9月30日

証券コード 5013

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法

電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.yushiro.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



## (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。